



布目川の甌穴と笠置山ハイキングの報告

- 1・日時 令和元年6月6日(木) 集合場所：関西本線大河原駅 10時
- 2・行程 大河原駅…沈下橋…恋志谷神社…十一面観音…地藏石仏…分岐
神社…布目川甌穴(昼食)…笠置山(笠置寺)・蝙蝠館に分かれる。笠置駅解散
- 3・行程距離 約10km
- 4・参加者 21名

当日は暑過ぎるくらいの好天に恵まれました。

関西本線の加茂駅から大河原駅の間は、昔懐かしい2両編成の電車でした。

車窓からは旅情をさそう素晴らしい景色が広がっていました。

無人駅を降りると木津川にかかる沈下橋が目に入りました。(因みに沈下橋とは増水時に川に沈んでしまうように設計された欄干のない橋のことだそうです。)

沈下橋を渡り後醍醐天皇の寵妃が祀られている恋志谷神社に向かいました。恋愛成就・子授け・安産の神として知られているようです。

東海道自然歩道歩いていると十一面観音の磨崖仏に出会いました。

途中マタタビ等、植物観察をしながら木津川沿いを歩いているとやがて分岐点、布目川に道を採り、目的の一つである布目川甌穴群として親しまれている甌穴の観察を行いました。

甌穴群は花崗岩の岩盤上に、大小様々なポットホールとして分布しています。甌穴は河底のくぼみにうずまき流が生じ、中に落ち込んだ小石が回転しながら河床を深く削って出来たものだそうです。穴が出来るまでには数十年から数百年かかるものと推定されているようです。河原で昼食を摂り、続いて水質検査を実施しました。

食後は関西本線沿いの東海道自然歩道をしばらく歩き笠置で登山組と蝙蝠博物館の二手に分かれそれぞれが楽しみました。

笠置駅で集合し全員乗車、少々暑さのためバテ気味でしたが、皆さん無事元気に帰路につきました。お疲れ様でした。

【 記録;源流担当 】

